

内視鏡治療に際しての二大偶発症は出血と穿孔である。私が大腸内視鏡を始めた頃はクリップや止血鉗子ではなく、出血や穿孔に対して為す術もなく外科に手術をお願いしていた記憶がある。反面、現在のように抗血栓薬は頻用されておらず、大きい病変の治療も外科をお願いすることで内視鏡治療後の出血や穿孔にあまり気を遣っていなかったのも事実である。しかし、最近は抗血栓薬が頻用され、またESDによりかなり大きな病変に対しての内視鏡治療が行われるようになり、「内視鏡治療の偶発症と対策」を考えずに内視鏡治療を行うことは許されなくなった。

「内視鏡治療の偶発症と対策」において一番大切なことは偶発症を起こさないことであるが、残念ながらある程度の頻度でどうしても偶発症は起きてしまう。本号ではインフォームド・コンセント、セデーション、抗血栓薬使用などの術前の管理から、各治療法における偶発症の頻度のレビュー、偶発症を起こしにくい治療手技、起こした場合の対処法についてまで各専門家が詳しく述べている。個人的には、種々の穿孔縫縮法を学ぶことができて今後の対応にたいへんためになった。また、手技的にはcold polypectomyのほうがhot polypectomyより後出血が少ないという安全性は再確認できたが、cold polypectomyの完全切除率(遺残率)に不安を抱いているのは私だけであろうか？

藤井が序説で「内視鏡治療の偶発症と対策」についてその現況、問題点と本号に対して期待する事項を述べているが、結果的にはかなり満足できる内容に仕上がっているのではなかろうか。ぜひ本号を読者の日常臨床にお役立て頂きたい。

鶴田 修
(久留米大学消化器病センター)

INTESTINE

Vol.22 No.2

©2018年3月20日発行
定価(本体2,850円+税)

●年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

・ Published by Nihon Medical Center Inc.

© 2018, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ **JCOPY** 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎ 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

編集 『INTESTINE』編集委員会

発行人 増永 和也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64(協和ビル)

営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377

e-mail intestine@nmckk.co.jp

印刷所 シナノ印刷株式会社

広告申込所/株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 電話 (03) 3814-8541